

(4) ぐみ処理のいろいろな工夫

① ぐみはどこで何に生まれ変わるのかな？

せい清そう工場

ぐみをもやすだけではなく、もやしたときの熱をいろいろなことに利用して市民のくらしに役立っています。

ぐみをもやしたときの熱

高い熱の水じょう気

発電

電気を作って清そう工場ですべて使っています。あまった電気は電力会社に売っています。

- ・ 発寒清そう工場
- ・ 駒岡清そう工場
- ・ 白石清そう工場

だんぼう・きゅう湯

南区真駒内地域のだんぼう・きゅう湯に利用したり、ほ養センターのおふろやだんぼうなどで熱を使っています。

- ・ 駒岡清そう工場

しげんせんべつ資源選別センター

資源選別センターは、東区と南区の2か所にあります。資源物として集められたびん・かん・ペットボトルはここで種類と色別に分けられてから、リサイクルをする会社にわたされて生まれ変わります。



このみおわたったペットボトルたちから



あたらしいペットボトルなどが作られます！

ぐみ資源化工場

紙に再生できない雑がみ、会社や工場などから出る紙くずなどから、固形ねん料を作っています。

ねん料をもやしたときの熱はだんぼう・きゅう湯に利用されます。



固形ねん料

雑がみ選別センター

雑がみ選別センターは、東区に1か所あります。資源物として集められた雑がみは、せい紙原料以外のものを取りのぞいてから、せい紙工場にわたされて生まれ変わります。



プラスチック選別センター

プラスチック選別センターは、東区に1か所あります。資源物として集められてきた容器包装プラスチックは、ここで容器包装プラスチック以外のものをとりのぞいてから、リサイクルをする会社にわたされて生まれ変わります。



リサイクルプラザ・リユースプラザ

おおがた大型ごみの中で、まだ使える家具や自転車などを、さいりよう再利用してもらうため、リユースの申し込みによって別に集め、リサイクルプラザ発寒工房で清そう・整びし、リサイクルプラザ宮の沢や厚別区にあるリユースプラザでてんじ、ていきょうしています。



ごみの生まれ変わり

- もやせるごみ
- 紙に再生できない雑がみや
会社・工場から出る紙くずなど
- びん・かん・ペットボトル
- 容器包装プラスチック
- まだ使える家具や自転車など
- 雑がみ
- 枝・葉・草

清そう工場

ごみ資源化工場

資源選別センター

プラスチック選別センター

リサイクルプラザ発寒工房

雑がみ選別センター・古紙問屋

資源化ヤード

エネルギー

固形ねん料

リサイクル会社

リサイクル会社

清そう・整び

せい紙工場

たい肥

再生品

再生品

再生品

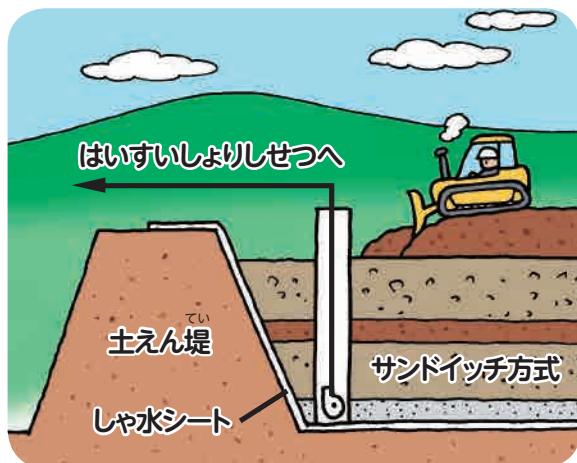
再生品

フケラレオ
(ごみの分別)



②うめたて地では、ごみをどのように処理しているの？

もやせないごみや清^{せい}そう工場から出る灰^{はい}などは、市内2か所のうめたて地で処理します。うめたて地では、ごみが散らばったりにおいが出たりするのをふせぐため、ごみと土をこうごにうめて、サンドイッチのようにして処理しています。また、うめたて地にしみこんだ雨水などを集めてきれいにするしせつもあります。



うめたてが終わったあとは、公園やグラウンドなどに利用^{りよう}しています。

うめたて地のあと地利用 モエレ沼^{ぬま}公園

